くさび緊結式足場

誤使用防止のために

はじめに・目次

　このハンドブックはくさび緊結式足場アルバトロスをより安全にお使い頂くために、アルバトロスを理解し、守らなければならないこと、してはいけないことを実際の施工を指示される現場担当の方、組立ての監督を行う職長（作業主任者）の方を対象として作成しています。

　特に、実際の現場においては計画図通りに組立てできないこと、また追加の足場や内部足場等で計画図なしで「どう組んだらいいのか」迷うこともしばしばあります。また、使用基準や組立基準に書かれていないことへの判断を迫られるときもあります。

　これらのときにアルバトロスの長所･短所を十分に知って対処するのと、何も知らずに「多分大丈夫だろう」というような考え方でやってしまうのでは大きな違いがあります。

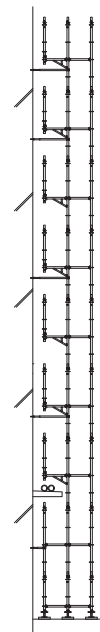
　このハンドブックは使用基準や組立基準に書かれているその基準の「なぜ」を理解してもらうとともに、具体的な事例を紹介していますので、アルバトロスの安全な組立設置のためにお役立てください。

組立てNG集 [ブラケットの誤使用①]

NG

庇と庇上のダクトを避けるために内支柱の縁を切って、ブラケットから再び本足場として立ち上げた。

正しい組み方

庇上にジャッキベースを敷いて支柱を立てられない場合は、その外側に本足場を組んで内側にブラケットではね出してください。

NG

敷地が狭いため下だけ一側にして途中から外にはね出して、上は通常の二側の本足場として組み立てた。

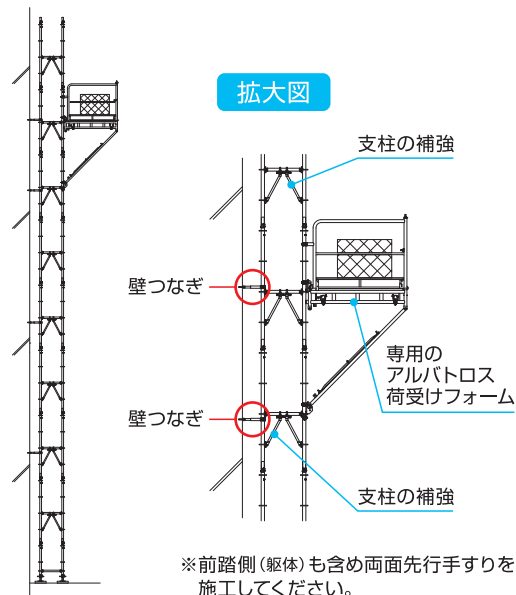
正しい組み方

敷地が狭く本足場を組めない場合は、ブラケット一側足場として正しく組み立ててください。（この場合、強度計算を行なって必要に応じて支柱を補強してください）

NG

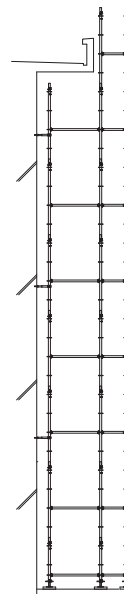
十分な補強をせずに、大きな偏荷重のかかる荷取りステージを取り付けた。
壁つなぎも不十分。

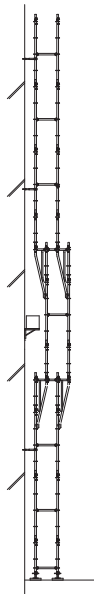
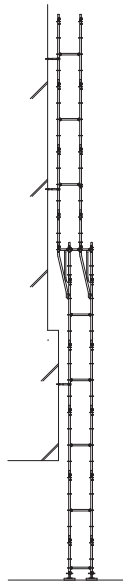
正しい組み方

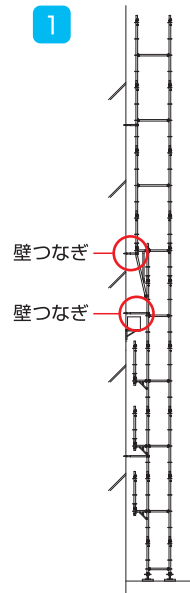
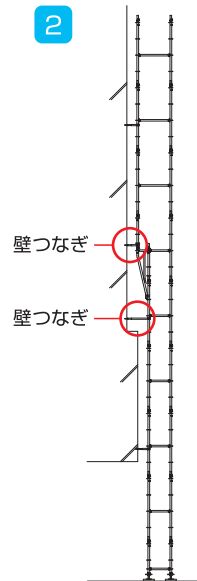
足場に偏荷重のかかる荷受けフォーム等を取付ける場合は強化方づえで補強して取り付けてください。ステージの上と下の腕木付近には必ず壁つなぎを設けてください。(専用の荷受けフォームの使用推奨)

NG

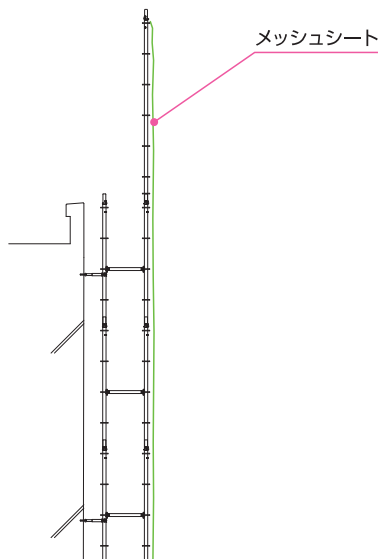
ブラケットを2回使って、本体の足場から大きく外側にはね出した。また、ブラケットからはね出した部分が上層へ組み上げている。

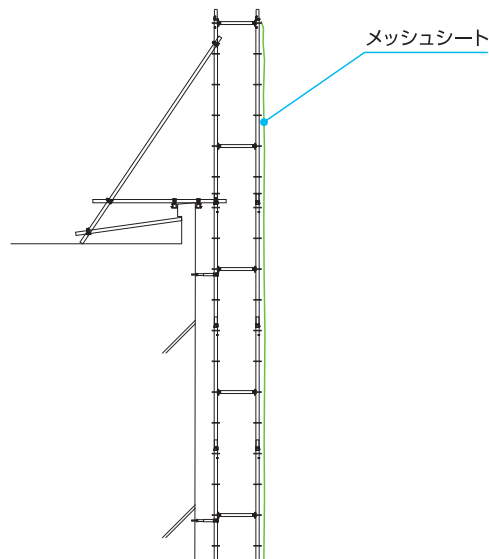
正しい組み方

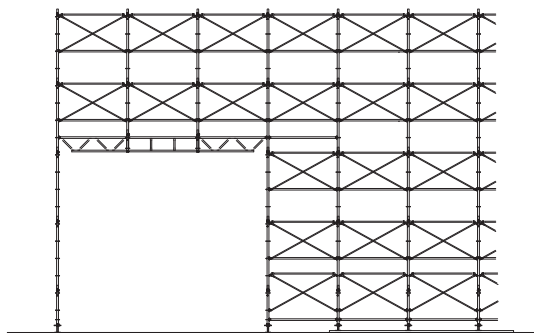
足場に大きな偏荷重をかけると、はね出し部が折れたり、本体足場が倒壊するおそれがあります。
正しく地上から立ち上げてください。
（ブラケットのはね出しは1回まで）

NG

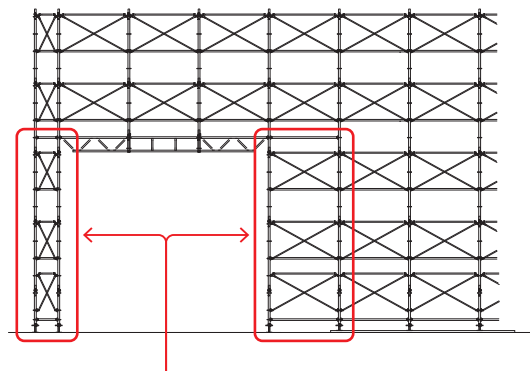
拡幅・狭幅ブラケットを使って、足場をくの字型やクランク状に組み立てた。

正しい組み方

拡幅・狭幅は1個1回までで、内・外いずれかの支柱が上から下まで必ず真っ直ぐ通るように組み立ててください。
幅を替えた層の上下には必ず壁つなぎを取り付けてください。

NG

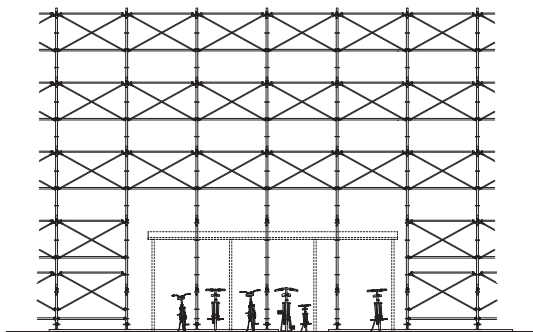
隣接住宅への目隠しをするために、外側の支柱のみで立ち上げてメッシュシートを張った。

正しい組み方

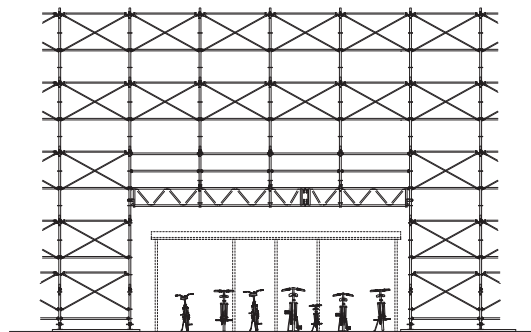
メッシュシートを張るために自立部分を高くする場合は内・外の支柱とも立ち上げて布材でつないでください。また、最上部の壁つなぎの風荷重の強度計算をおこない、必要な場合はやらずを設けてください。

NG

梁枠開口の片側が足場の端部になり、
スパンのない支柱のみで支えられている。

正しい組み方

先行手すりと布材でつながっていない支柱には強度はありません。梁枠支持支柱の外側には必ず1スパン以上の足場を設けてください。（短いスパンでも可）

組立てNG集 [支柱に布材、先行手すりがない]

NG

改修工事で自転車置き場のスペースを確保するため、先行手すりや布材を省いて支柱単独で組み立てた。

正しい組み方

くさび式足場は布材と先行手すり(筋かい)を支柱に正しく取り付けることによって必要な強度が発揮されます。開口部を設ける必要のある場合は梁枠を使用してください。(1.5、2、3、4スパン用があります)

安全で正しい組み立て方のポイント

POINT 1

組み立て方にはルールがあります。見た目の判断で、「これはこう組める」、「これをここに取り付けられる」としても、してはいけない組み立て方があります。

POINT 2

本足場（二側足場）は支柱の途中で一旦縁が切れて連続性がなくなると足場全体の強度・安定性が著しく低下します。

POINT 3

先行手すりは墜落防止だけでなく筋かいとしての役割もあります。先行手すりがないと足場の強度は低下します。特に、連続したスパンでは取り外さないようにしてください。

POINT 4

偏荷重をかけると足場に大きな負担になります。偏荷重になる場合は十分に補強して壁つなぎを正しく取り付けてください。また、ブラケットは連続してはね出さないでください。

POINT 5

アルバトロスにとって壁つなぎは強度や安定性の維持に必要な部材です。メッシュシートを張らなくても壁つなぎや水平つなぎは正しく確実に設けてください。

POINT 6

強化方づえや二本組みで支柱を補強している場合は一時的であっても取り外さないでください。

POINT 7

組み立てている途中で、支柱の全体・一部に反りや曲がりが出始めたら直ちに作業を中止して点検し、対策をとってください。多くの場合は変則組み、壁つなぎの不足、無理な偏荷重によります。ただし、一旦変形した足場を元に戻すのは容易でありません。場合によっては一度解体する必要のある場合もあります。最初から正しく組み立てるようにしてください。

POINT 8

組み立てている途中で部材の取り付け（特に先行手すり）が困難になってきたら作業を中断し、足場全体を点検してください。足場全体または部分的に変形や沈下しているおそれがあります。

POINT 9

改修工事では組み立てを始めてから問題が出ないように、事前に現地調査を十分に行って計画を立ててください。

POINT 10

組み立て方や部材の使い方で分からないことがありましたら、必ずレンタル会社かアルインコの担当にお問い合わせください。

POINT 11

やむを得ず変則的な組み立て方をしなくてはならない場合も必ずレンタル会社かアルインコの担当にご相談ください。

組立て方と部材の使用方法（その他の注意点）

1
1層の高さは1.8m、4プレート分以内の高さ以内で組み立ててください。

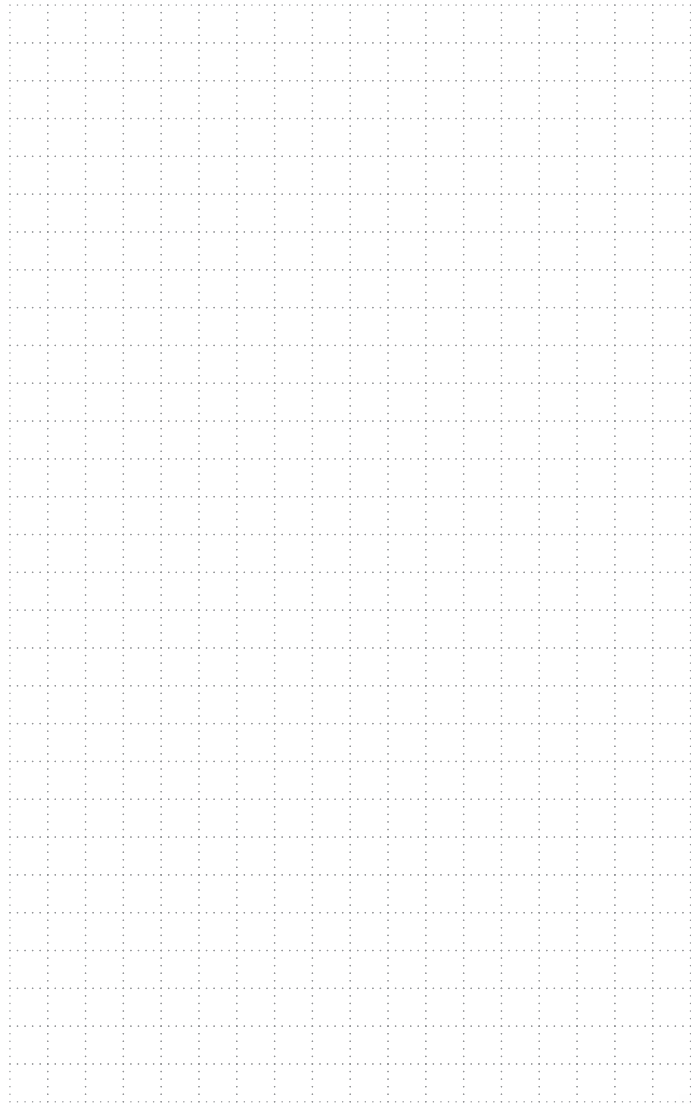
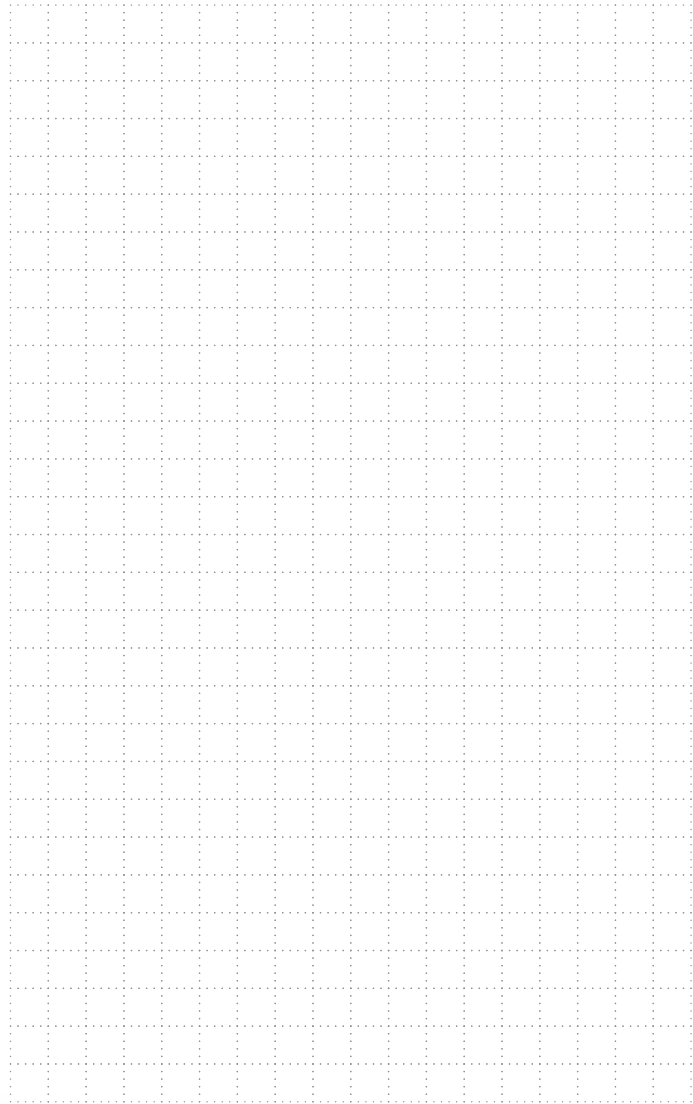
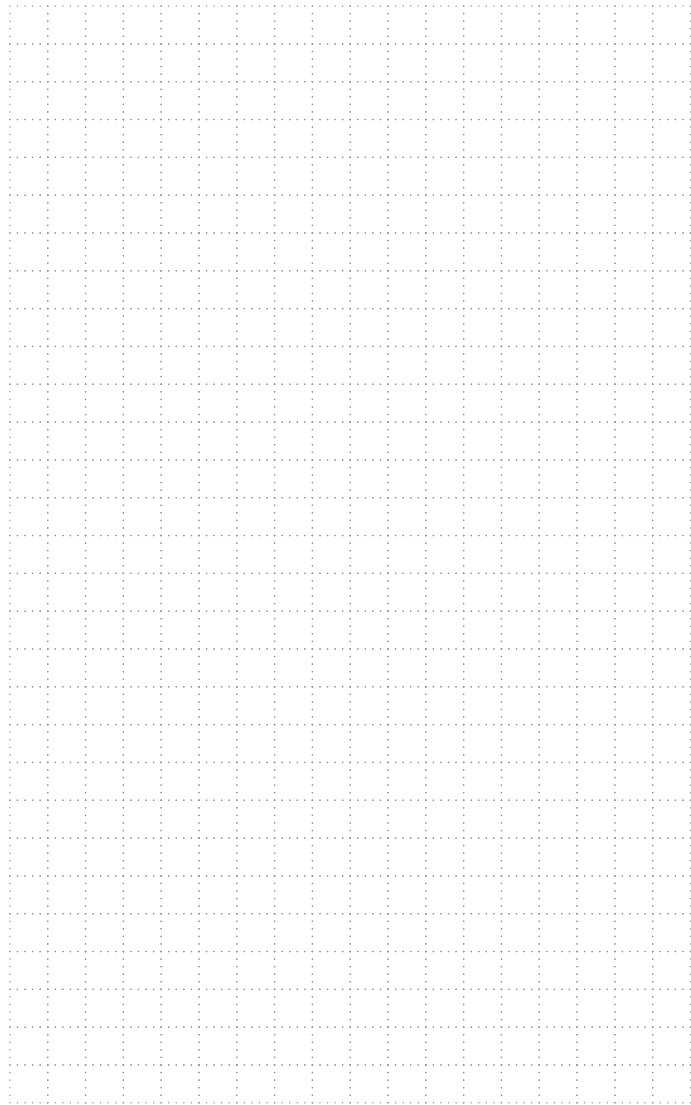
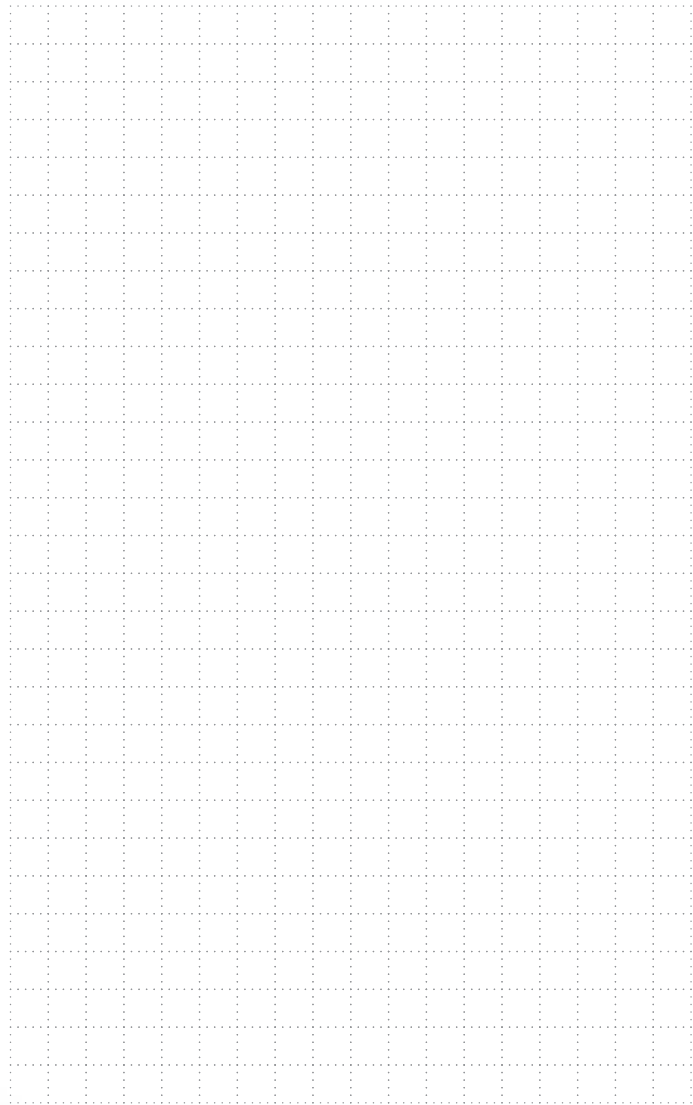
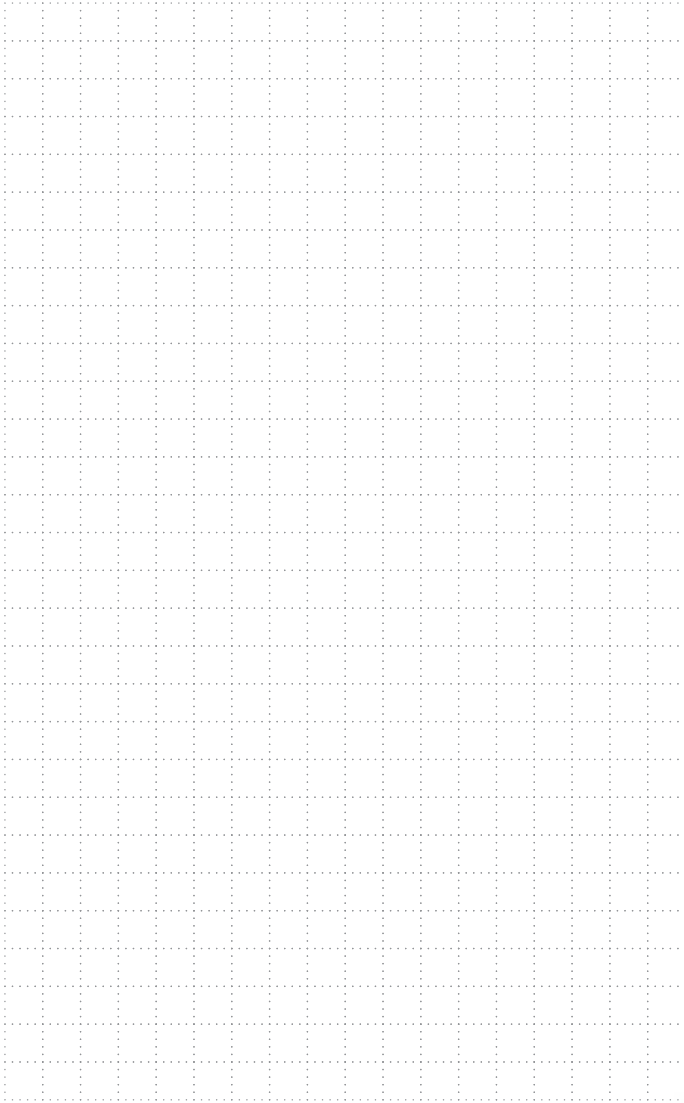
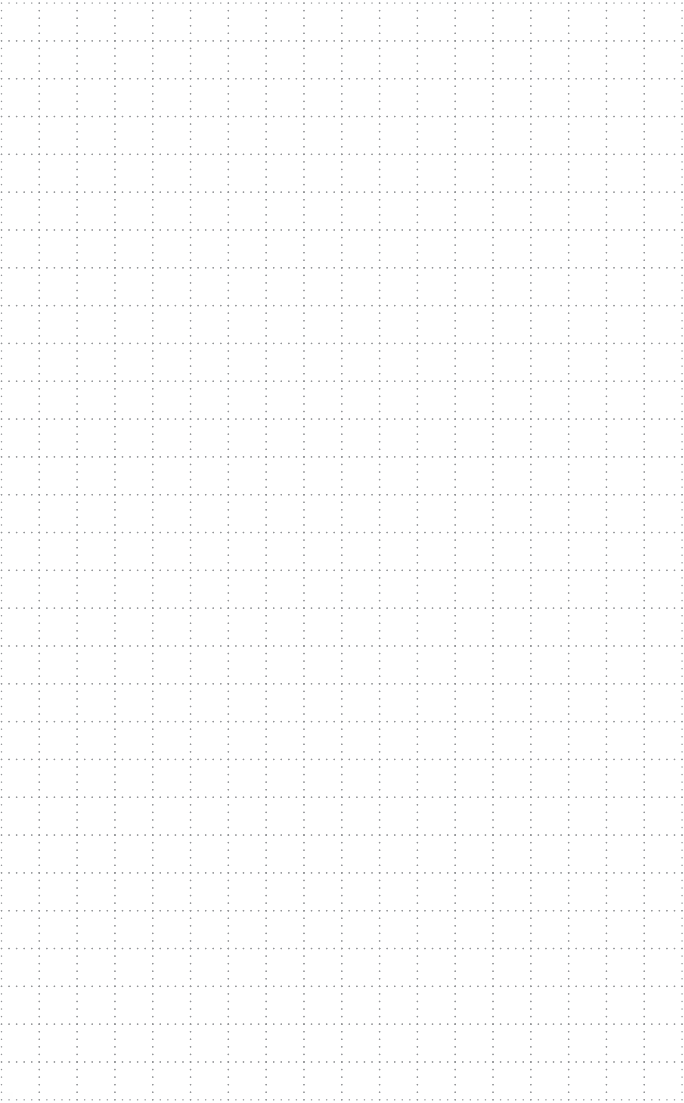
2
布材をブラケット代わりに片持ちで使わないでください。特に布板を敷いて作業床とすると大変危険です。

3
梁枠の側面にはブラケットを取り付けないでください。

4
伸縮ブラケットを布材の代わりに使わないでください（固定式の先端くさびブラケットは可）。

5
梁枠開口の上には荷取りステージを取り付けないでください（最低開口部より1スパンあける）。

6
最下層、後踏側（外側）についても必ず先行手すりを設置してください。

アルインコ株式会社

建材事業部技術支援課・カスタマーサービス課
TEL 03-3278-5876 ／ FAX 03-3278-5875

http://www.alinco.co.jp

第一営業部

札幌支店	〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西5-1-1 桂和大通ビル38 TEL 011-222-8810 ／ FAX 011-222-8820
仙台支店	〒980-0812 宮城県仙台市青葉区片平1-5-20 イマス仙台片平丁ビル3F TEL 022-221-8210 ／ FAX 022-221-8010

第二営業部

東京支店	〒103-0027 東京都中央区日本橋２-３-４ 日本橋プラザビル14F TEL 03-3278-5870 ／ FAX 03-3278-5875
名古屋支店	〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄2-13-1 名古屋パークプレイス8F TEL 052-232-2103 ／ FAX 052-203-0226

第三営業部

大阪支店	〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋4-4-9 淀屋橋ダイビル TEL 03-3278-5870 ／ FAX 03-3278-5875
広島支店	〒732-0052 広島県広島市東区光町1-12-20 もみじ広島光町ビル4F TEL 082-506-4550 ／ FAX 082-261-8670
福岡支店	〒811-2502 福岡県糟屋郡久山町2268-1 TEL 092-652-3388 ／ FAX 092-652-3389

MR営業部

〒103-0027
東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル14F
TEL 03-3278-5580 ／ FAX 03-3278-5884